

令和6年度 浜松市一般会計・特別会計決算（速報値）について

令和6年度 浜松市一般会計・特別会計決算（速報値）について発表します。

1 歳入、歳出決算見込額

- 一般・特別会計の合計では、前年度に比べて歳入 65 億円の減、歳出 47 億円の減。
- 一般会計の歳入では、繰入金、国庫支出金の減などにより 76 億円の減。
歳出では、新清掃工場整備事業の減などにより 64 億円の減。

（単位：百万円）

区 分	歳 入			歳 出		
	6 年度	5 年度	増減	6 年度	5 年度	増減
一 般 会 計	416,537	424,152	△ 7,615	403,849	410,248	△ 6,399
特 別 会 計	225,152	224,082	1,070	221,441	219,785	1,656
合 計	641,689	648,234	△ 6,545	625,290	630,033	△ 4,743

※表示単位未満四捨五入のため、内訳と合計や増減の計算が一致しないことがある。

2 令和6年度一般会計決算の収支

- 歳入決算額と歳出決算額の収支差（126.9 億円）から翌年度繰越財源（53.2 億円）を控除した実質収支は、73.7 億円（R5：75.4 億円）。
- 実質収支から黒字要素や赤字要素を控除した実質単年度収支は、3.6 億円（R5：△9.5 億円）。

3 財政指標からみる財政状況

（1）経常収支比率

財政構造の弾力性を表す経常収支比率は、地方交付税の増等による経常一般財源の増を、清掃工場の運営等にかかる物件費等の増が上回ったことにより上昇。

（2）実質公債費比率・将来負担比率

- 実質公債費比率は、主に元利償還金の減により改善。
- 将来負担比率は、令和5年度に引き続き充当可能財源等が将来負担額を上回る。

項 目	6 年度	5 年度	増 減	早期健全化基準
経常収支比率	93.3%	91.2%	2.1 ポイント	
実質公債費比率	3.3%	3.8%	△0.5 ポイント	25.0%
将来負担比率	-	-	-	400.0%

※将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回るため「-」と表示。なお、上回る額の比率をマイナスで表示した場合は△31.9%（R5：△32.6%）

(3) 市債残高

- R6 年度末の市民一人あたりの市債残高は 53 万 9 千円となり、中期財政計画の目標 55 万円以下を達成した。

区 分	6 年度末	5 年度末	増 減
市債残高	4,210 億円	4,349 億円	△139 億円
(うち一般会計)	(2,382 億円)	(2,444 億円)	(△63 億円)

※表示単位未満四捨五入のため、内訳と合計や増減の計算が一致しないことがある。

4 市税の状況

- 市税収入は 1,519 億円となり、前年度 (R5 : 1,524 億円) に比べ、5 億円の減。
- 個人市民税は、定額減税により前年度 (R5 : 663 億円) に比べ 31 億円減の 633 億円。
- 法人市民税は、主に製造業の増により前年度 (R5 : 90 億円) に比べ 21 億円増の 111 億円。
- 固定資産税は、地目変更及び評価替えによる土地分の増、新增築による家屋分の増及び設備投資の増による償却資産分の増により前年度 (R5 : 561 億円) に比べ 4 億円増の 565 億円。
- 現年分収入率は、過去最高だった前年度 (R5 : 99.55%) 並みの 99.53%

(単位：百万円)

区 分		6 年度	5 年度	増 減
市民税	個人	63,257	66,315	△3,058
	法人	11,084	9,023	2,061
固定資産税		56,476	56,125	351
その他		21,084	20,910	174
市税 計		151,901	152,373	△473
現年分収入率		99.53%	99.55%	△0.02%
滞納繰越額		1,753	1,739	14

※表示単位未満四捨五入のため、内訳と合計や増減の計算が一致しないことがある。

